

感染の不安を少しでも軽く！医療生協の強みをいかした活動 東京のまちづくり活動トピックス

withコロナの暮らしの中で安心して活動をするために、生協ではさまざまな工夫をしています。今回はまちづくり活動の中で共有された医療生協の取り組みを紹介します。

西都保健生協 「衛生リーダー養成講座」や「回覧ノート」でつながりを大切にすすめています

班活動等を安心して行えるように、西都保健生協の看護師さんが講師となって「衛生リーダー養成講座」を開催しました。講義には、東北医科薬科大学で作成した「市民向け感染予防ハンドブック」と、西都保健生協が作成したオリジナル版、併せて2冊のテキストを使いました。そして、コロナでも安心してつながりを感じられるようにと班のメンバーで「回覧ノート」を始めた班もありました。



東京ほくと医療生協 「電話相談会」や「お弁当配布」が喜ばれています

事業所の近くの団地にチラシを配布して、6月から「なんでも電話相談会」をスタートしました。コロナ禍の中で、知り合いにもなかなか相談しにくいことや、暮らしの困りごとなどの相談にのることで、地域のお役に立てる取り組みとなりました。また、集まって食事をするのが難しい子ども食堂「としま虹」では、6月後半から持ち帰りのお弁当配布をはじめました。同じ日に学習支援「ロコクラブ」も開催することで、学習にくる子どもたちにもお弁当を配布する活動をおこなっています。



東京ふれあい医療生協 荒川区社会福祉協議会との連携を強めています

組合員の活動としてすすめていた「子ども食堂」は、月1回のパントリーに形を変えて再開しました。支援物資は荒川区社会福祉協議会より提供していただきました。「子ども食堂」に来ていた子どもたちはひとり親家庭であったり、家庭が金銭的な問題を抱えているケースも多く、自宅までお届けしてとても喜んでいただけました。組合員活動再開については、高齢者の孤立化を防ぎ、組合員同士が安全に、安心して活動できるよう、荒川区社会福祉協議会と共にコロナキットを使った正しい感染予防を学ぶための学習会を開催しました。



医療生協のホームページで健康体操動画をチェック！

多くの医療生協では、コロナで自宅にいる機会が多くなった組合員の健康維持のために、映像を観ながら一人でもできる体操の動画をホームページにアップしています。ぜひ覗いてみてください。



そのまま右に体を倒します
東京ほくと医療生協ホームページより

〇〇医療生協



まちづくり活動

オンラインで再開！

コロナ禍の中での生協の現状について情報交換

コロナの感染拡大で、参集しての会議が難しくなったことから休止していたまちづくり活動の定例会を半年ぶりに再開しました。再開にあたっては、まちづくり活動に参加している会員生協のメンバーに通信状況などを聞き取り、オンラインで開催できるかどうか、まずはアンケート調査を行いました。事務所に集まっての複数参加などそれぞれに工夫をしながら久しぶりの再会に「やっぱり直接顔を見て話せるのはいいね！」と、会えなかった間の情報交換で盛り上がりしました。



練馬区まちづくりのオンライン定例会の様子

《東京のまちづくり活動》 荒川区まちづくり・北区まちづくり・足立区まちづくり・品川区まちづくり・目黒区まちづくり
杉並区まちづくり・練馬区まちづくり・東久留米市まちづくり・生協のまちづくり☆八王子